

5 ジェンダー平等を
実現しよう



March 8th
International Women's Day

国際女性デー

1904年3月8日にアメリカで婦人参政権を求めたデモが起源となり、1910年のコペンハーゲンでの国際社会主義会議にて「女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱されたことから始まりました。その後、1975年に国連が3月8日を「国際女性デー」と制定し、現在は女性への差別撤廃と女性の地位向上を呼びかける日となっています。

国連ウィメン活動開始

2011年

1975年

2019年

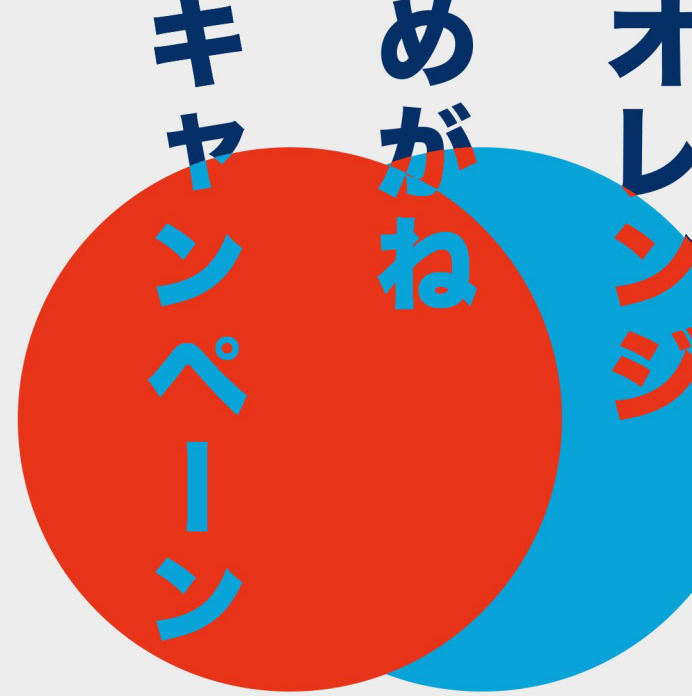
国連が3月8日を
「国際女性デー」と制定

オレンジめがねキャン
ペーンSTART

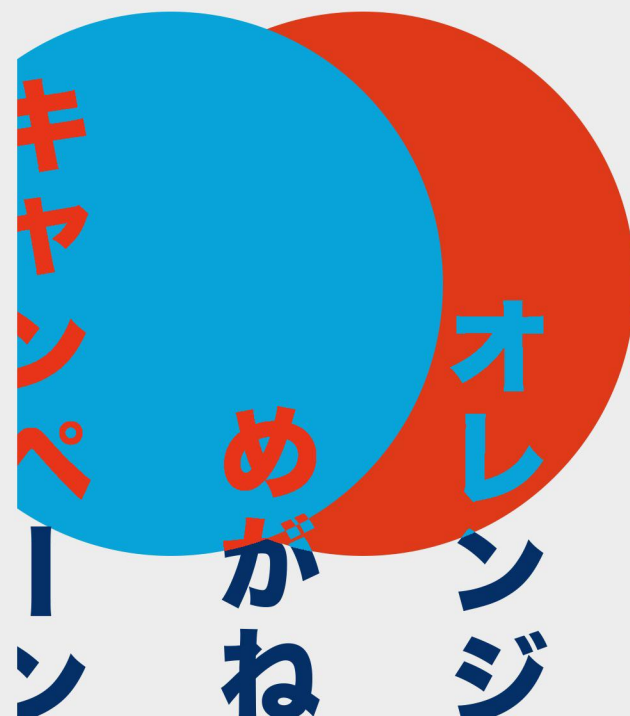
INTERNATIONAL WOMEN'S
DAY

オレンジめがねキャンペーン

平等を、みんなに
equality for all



ORANGE GLASSES CAMPAIGN 
March 1st - 31st



実施主体

鯖江市 / 国連の友アジアパシフィック
日本眼鏡関連団体協議会 / (一社) 福井県眼鏡協会

問合せ先

さばえSDGs推進センター
福井県鯖江市新横江2-3-4めがね会館9F
TEL: 0778-42-8938
FAX: 0778-42-8939
MAIL: SC-SDGs@city.sabae.lg.jp
www.sabae-sdgs.jp

Orange Glasses Campaign

オレンジめがね キャンペーンとは

国際女性デーにあわせ、SDGsの全17目標達成のための礎「ジェンダー平等」の意義と重要性を国内外にPRするために、めがねのまち鯖江市と国連の友アジアパシフィック、日本眼鏡関連団体協議会、(一社)福井県眼鏡協会がめがねを活用して、オレンジめがねキャンペーンを毎年3月に実施しています。

オレンジめがねキャンペーンを通して、女性のエンパワーメントを促進し、性別に関係なく誰もが輝ける社会の実現を目指していきます。

1904年
ニューヨークにて婦人参政権を求めるデモが行われる

1946年
日本で女性が初めて参政権を行使

1904年

1946年

1910年

1910年
コペンハーゲンでの国際社会主義者会議から国際女性デーが始まる

Sustainable Development Goals

SDGs/ 持続可能な開発目標

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、地球に住むすべての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくため、2015年9月に国連総会で採決された世界共通の目標。

2030年までに経済・社会・環境などの様々な課題に取り組もうと定められました。世界中の”誰一人取り残さない”を理念としています。

Glasses are a Statement

めがねはメッセージだ!

“Think Globally! Act Locally!” それは、めがねのまち鯖江市が作成したSDGs推進オリジナルシンボルマーク「グローバルめがね」。一つのレンズで世界(グローバル)の動きを捉え、もう一つのレンズで地域(ローカル)を考え行動するという二つの視点を表しています。

SDGs目標の17色を眼鏡の形に配し、ゴール5「ジェンダー平等の実現」のアイコンカラーのブリッジがつなぐ”めがねのまちさばえ”ならではのデザインには、SDGs達成のためにジェンダー平等の促進が必要不可欠であるというメッセージが込められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



“世界的な視野を持ち、
地域で行動する”



Decade of Action

行動の10年

国連では、2020年からSDGsの目標達成年である2030年までの10年間を「行動の10年 (Decade of Action)」と位置づけ、取組を加速させていくことを呼びかけています。2030年までにSDGsの目標を達成するためには、国や大企業による取組だけでは難しいのが現状です。私たち一人ひとりが行動することが、国や社会に影響を与え、世界を変えていくことに繋がります。